

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	中国語 I
科目基礎情報						
科目番号	0194		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	劉国彬「中国語の世界～大学一年生の入門中国語～」(金星堂), 姜晩成・王郁良編「精選日中・中日事典」(東方書店・文庫)					
担当教員	李 荔					
到達目標						
1 四声を聞き分け, 発音することができる。 2 日本語にない音を聞き分け, 発音できる。 3 ピンインの読み書きができる。 4 基礎単語500語を覚え, 簡体字で表記できる。 5 単文の基本文型, 簡単な日常挨拶50～80を覚える。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	四声を正確に聞き分け, 発音することができる。		四声を聞き分け, 発音することがほぼできる。		四声を聞き分け, 発音できない。	
評価項目2	日本語にない音を正確に聞き分け, 発音できる。		日本語にない音をほぼ聞き分け, 発音できる。		日本語にない音の聞き分け・発音ができない。	
評価項目3	ピンインの読み書きが正確にできる。		ピンインの読み書きがほぼできる。		ピンインの読み書きができない。	
評価項目4	基礎単語500語を覚え, 簡体字で表記できる。		基礎単語500語をほぼ覚え, 簡体字で表記できる。		基礎単語500語を覚えられない。	
評価項目5	単文の基本文型, 簡単な日常挨拶80を覚えた。		単文の基本文型, 簡単な日常挨拶50を覚えた。		単文の基本文型, 簡単な日常挨拶50を覚えられない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (E)						
教育方法等						
概要	【授業目的】 中国語(普通語)のピンイン(表音ローマ字)をマスターし, 基礎的な単語・文法事項を身に付ける。その後更に学習を進め, いずれは中国語でコミュニケーションできる能力を養っていく上での基礎固めをする。 【Course Objectives】 The aim of this class is to master the standard Chinese Phonetic Alphabet and the basic grammar in order to understand China and the Chinese people.					
授業の進め方・方法	【授業方法】 はじめの1ヶ月で, 中国語の発音の基本的なところを習得。2ヶ月目からはテキストに沿って文法事項の説明や練習問題を進めていく。その他適宜, 中国の今を伝える資料やDVDを用いながら, 中国の社会・文化や人々について考える。授業中は「多听, 多, 多写, 多看」(たくさん聞き, たくさん話し, たくさん書き, たくさん見る)で, 楽しみながら中国語を身に付けられるようにしたい。 【学習方法】 日本の漢字と中国の簡体字では形が大きく異なり, また, 形が同じ漢字でも意味がまったく違ったりするので, 注意が必要である。日本語に比べ, 一つ一つの音を口を大きく開けてはっきり発音する言語であるので, 恥ずかしがらず発音練習してほしい。					
注意点	【定期試験の実施方法】 定期試験を2回実施する。時間は50分とする。 【成績の評価方法・評価基準】 成績の評価方法は, 各単元の小テストや必要に応じて課すレポート課題の内容の評価(20%), 試験の成績(80%)の合計をもって総合成績とする。到達目標に基づき, 各項目の理解の到達度を評価基準とする。 【履修上の注意】 毎回必ず辞書を持参し, 自ら活用するよう努めること。 【教員の連絡先】 研究室 B棟2階 非常勤講師室(B-206) 内線電話 8125 e-mail: teng-songアットマークnike.eonet.ne.jp (アットマークは@に変えること。)					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明、発音1(声調、軽声と単母音)		1, 2, 3	
		2週	発音2(複母音と鼻母音)		1, 2, 3	
		3週	発音3(子音)		1, 2, 3	
		4週	発音4(アル化, 変調, つぶりの注意点)		1, 2, 3	
		5週	第1課(1. 人称代名詞 2. 名前の尋ね方)		1, 2, 3	
		6週	第2課(1. 「是」の文 2. 三つの疑問文)		1, 2, 3	

		7週	第3課（1. 場所指示代名詞 2. 動詞の文 3. 助動詞(1)「想」）	1, 2, 3
		8週	中間試験	1, 2, 3
	2ndQ	9週	映像で見る中国①	1, 2, 3, 4, 5
		10週	第4課（1. 所有を表す「有」2. 形容詞述語文 3. 反復疑問文）	1, 2, 3, 4, 5
		11週	第5課（1. 指示代名詞 2. 曜日の言い方 3. 目的語が主述句のとき）	1, 2, 3, 4, 5
		12週	第6課（1. 様態補語 2. 助詞「的」 3. 副詞「也」と「都」）	1, 2, 3, 4, 5
		13週	第7課（1. 「喜」2. 助動詞(2) 3. 過去の経験を表す「」）	1, 2, 3, 4, 5
		14週	第8課（1. 量詞<助数詞> 2. 助動詞(3)「能」）	1, 2, 3, 4, 5
		15週	第9課（1. 「了」の用法 2. 前置詞(1)「在」）	1, 2, 3, 4, 5
		16週	（15週目の後に期末試験を実施） 期末試験返却・達成度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0